

茶の博物史と狭山のお茶

平成5年10月23日(土)～11月28日(日)



狭山市立博物館

ご案内

ここ数年の間、スーパーマーケット、コンビニエンスストアをはじめとした店では、缶・ビン（ペットボトル）などの容器に入った、手軽に飲める様々なお茶が売られています。

歴史的には、狭山市、入間市、所沢市を中心とした地域は、江戸時代後期から茶の生産が盛んに行われてきました。また、茶摘み唄にも「色は静岡 香りは宇治よ 味は狭山でとどめさす」と歌われるほど、味の「狭山茶」としてその名は全国に知られています。

今回の企画展では、地場産業として生産されている狭山茶を中心にして、「茶一茶の博物史と狭山のお茶一」のテーマを設定し、日常茶飯事と言われるほど普段私たちが何気なく飲用しているお茶について、その歴史、種類、製法等を探ります。

第一部では、烏龍茶、紅茶、緑茶など様々に変化して世界各地に広がっているお茶を紹介します。第二部では、この地域で生産される「狭山茶」についてその特徴や、製法を紹介します。

講演 ◆講師 元狭山市教育委員会委員長
元社崎玉県茶業協会理事長

町田 恒蔵氏

テーマ 「健康飲料—日本茶—」

日時 11月7日(日) 午後1時30分～3時00分

場所 研修・講義室

※聴講希望の方は、10月17日(日)から狭山市立博物館へ電話でお申し込みください。(定員50名)

実演 ◆「手もみ製茶」狭山市茶業協会他

日時 11月14日(日) 午前11時00分～

場所 舞い舞いホール

開館時間 ● 午前9時～午後5時

休館日 ● 10/25、11/1、11/4、11/8、
11/15、11/22、11/24、11/26

入館料 ● 一般150円(100円)
高校生・大学生100円(60円)
小学生・中学生50円(30円)

()は20名以上の団体



イランの茶娘